

## 船舶インシデント調査報告書

令和3年1月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和2年7月12日 06時20分ごろ
発生場所	三重県松阪市松阪港北東方沖 松阪港東防波堤灯台から真方位030° 1,700m付近 （概位 北緯34° 37.9′ 東経136° 34.3′）
インシデントの概要	プレジャーボートカーファミリーヒグチは、主機を中立運転として漂泊中、船外機のクラッチが入らなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年7月22日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート カーファミリーヒグチ、0.6トン 243-17610三重、個人所有 ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力7.30kW、回転数毎分 5,200、2気筒、ボア60.4mm、使用燃料ガソリン
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、友人1人を乗せ、釣りの目的で、主機を中立運転として漂泊中、移動のため航行しようとしたところ、船外機のクラッチが入らなくなり、運航不能となった。</p> <p>本船は、船長が、原因を調査したが特定できず、航行不能と判断して118番通報を行い、来援した巡視船にえい航された。</p> <p>機関修理会社担当者は、本インシデント後、船外機のドッグクラッチのシフトプランジャーが経年劣化により動かなくなり、プロペラ側のギアのシャフトが動かずに主機側のギアに繋がらなくなり、クラッチが繋がらなくなったと判断した。</p> <p>船長は、本インシデントの前にもクラッチが時々繋がらなくなることがあり、違和感を感じていたが、航行不能になるとは思わなかったため、開放点検を行わなかった。</p>
分析	本船は、時々船外機のクラッチが繋がらなくなることがあったが、開放点検が行われておらず、主機を中立運転として漂泊中から移動のため航行しようとした際、船外機のドッグクラッチのシフトプランジャーが経年劣化により動かなくなったことから、船外機のクラッチが入らなくなり、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、時々船外機のクラッチが繋がらなくな

	<p>ることがあったが、開放点検が行われておらず、主機を中立運転として漂泊中から移動のため航行しようとした際、船外機のドッグクラッチのシフトプランジャーが経年劣化により動かなくなったため、船外機のクラッチが入らなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>再発防止策</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船外機のクラッチは、常に動作を確認し、少しでも繋がらない等不具合を発見した際は、修理すること。</li></ul>